

滞在型市民農園における空き区画の現状

～2014年度の調査結果から～

Present Situation about Unused Plots of Stay-type Allotment Gardens

-From the Results of Inquiries on FY 2014-

○河野純士* 阿嘉洋典** 牧山正男**

KAWANO Junji, AKA Hiromichi and MAKIYAMA Masao

1. 目的と方法 かつては人気を博した滞在型市民農園（以下、KG）だが、近年ではその一部に空き区画が見られる¹⁾。昨年度²⁾はKGの分布に注目してその要因分析を試みた。ただしそこで用いた空き区画情報は単年度（2011年度）のものに過ぎず、時間変化を追うことはできなかった。

本報は2014年度の全KG（78地区）に対する郵送などの調査から得られた空き区画情報を基に、その実態把握を行う。合わせて空き区画が生じる要因にも一部言及する。

2. 結果と考察

(1) 概況 2014年度に空き区画を有したKGはTable 1の①～⑳で、うち㉑～㉒は近年の開設である。31地区は全KGの約4割である。空き区画の合計は93区画で、これはKGの全区画数（1426区画）の6.6%である。

2011年時点で空き区画があったKG¹⁾を併記する。22地区は当時のKG（75地区）の約3割であり、このうち大多数が空き区画だった㉑㉒はKG業務から撤退した。空き区画の合計は70区画で、全1351区画の約5.2%（㉑㉒を差し引くと約3.5%）だった。

細かく見れば、2011年は空き区画を持つKGの7割が1～2区画の空きだったのに対し、2014年は空き区画数が1～2区画のKGが約半数、3～4区画が約3割を占めていた。

以上のように、この3年間で空き区画を有するKGは増加し、しかも㉑㉒を除けばKG1地区あたりの空き区画数は増えていた。㉑

一方で、2011年、2014年ともに0～2区画程度で、全区画が利用されるか否かの境界線上にあるといえるKGも22地区存在した。

Table 1 2014年に空き区画を有したKG KGs with unused plots in 2014

番号	KGの名称	道府県	区画	14年 空き区画数(%)	11年 空き	利用料		開設年	開設主体
						年間	初回		
①	おちかた温泉の郷	兵庫	10	8 (80)	6	31万	5万	2010	民間
②	KG岩座神	兵庫	15	7 (47)	10	48	54	2002	行政
③	小灯の里入山	長野	7	5 (71)		36		2003	行政
④	KG下郷	福島	30	5 (17)		40		2010	行政
⑤	みのりの丘	山口	4	4 (100)	2	36		2005	行政
⑥	コテージふるさと	岐阜	5	4 (80)	1	43		2001	行政
⑦	やすらぎ交流農園	広島	10	4 (40)	1	30		2001	行政
⑧	不動尊KG	宮城	18	4 (22)		36		2000	行政
⑨	いづべ市農業公園	三重	8	3 (38)	1	50		2002	行政
⑩	木曾駒高原自然村	長野	16	3 (19)		48	12	1999	行政
⑪	KG新野高原	長野	20	3 (15)		40		2010	行政
⑫	KG「天のなかかき」	長野	21	3 (14)		48		2010	民間
⑬	城山KG	三重	27	3 (11)	1	50	5	1998	民間
⑭	ふたえ市民農園	長野	49	2 ((6)		39		1997	行政
⑮	グリーンピア	山口	5	2 (40)	2	38		2001	行政
⑯	おおしお市民農園	長野	36	2 (6)	1	39		2002	行政
⑰	天耕の家	長野	5	2 (40)		42		2004	行政
⑱	ブライベンオオヤ	兵庫	20	2 (10)		30	35	2002	行政
㉑	小野子KG	長野	10	1 (10)	2	38	10	2001	民間
㉒	KGたかぎ	長野	10	1 (10)	1	36		2011	行政
㉓	ダーチャかねやき	熊本	5	1 (20)		39	6	2009	行政
㉔	九重飯田高原'夢'	大分	5	1 (20)		66	5	2008	民間
㉕	筆甫KG	宮城	8	1 (13)		36		2005	行政
㉖	KGあまがせ	大分	8	1 (13)		37		1998	行政
㉗	中ノ在家KG	長野	12	1 (8)		21		1997	行政
㉘	ガルテンヴィレ大島	山口	12	1 (8)		39		1999	行政
㉙	舞鶴ふるるファーム	京都	17	1 (6)		43	40	2006	行政
㉚	ふれあい 耕房	静岡	20	1 (5)		33	10	1998	民間
㉛	観光農業公園	鹿児	20	10 (50)	—	22		2012	行政
㉜	KGもとやま	高知	10	5 (50)	—	40	1	2014	行政
㉝	とよかの里	北海	3	1 (33)	—	20		2012	行政
㉞	KG栗源	千葉	20		5	45		2006	行政
㉟	悠陽の里	広島	6		4	49		2011	民間
㊱	白木峰山麓KG	富山	6		2	25		2006	行政
㊲	神谷遊農倶楽部	長野	18		2	35		2003	行政
㊳	志都の里KG	島根	25		2	40		2003	行政
㊴	土恋処よこかわ	長野	13		1	35		1999	行政
㊵	ワнда農園	岐阜	12		1	45		2004	行政
㊶	農園付きコテージ	岐阜	19		1	76		2006	行政
㊷	ブルーネやまと	兵庫	30		1	40	35	2004	行政
㊸	KG那須芭蕉温泉	栃木	12	—	12	42	42	2011	民間
㊹	KG藤ヶ原	長野	18	—	11	45	1	2008	民間

*茨城大学大学院農学研究科 Graduate School of Agri., Ibaraki Univ. **茨城大学農学部 College of Agri., Ibaraki Univ.

キーワード：滞在型市民農園（クラインガルテン）、区画の利用状況、空き区画

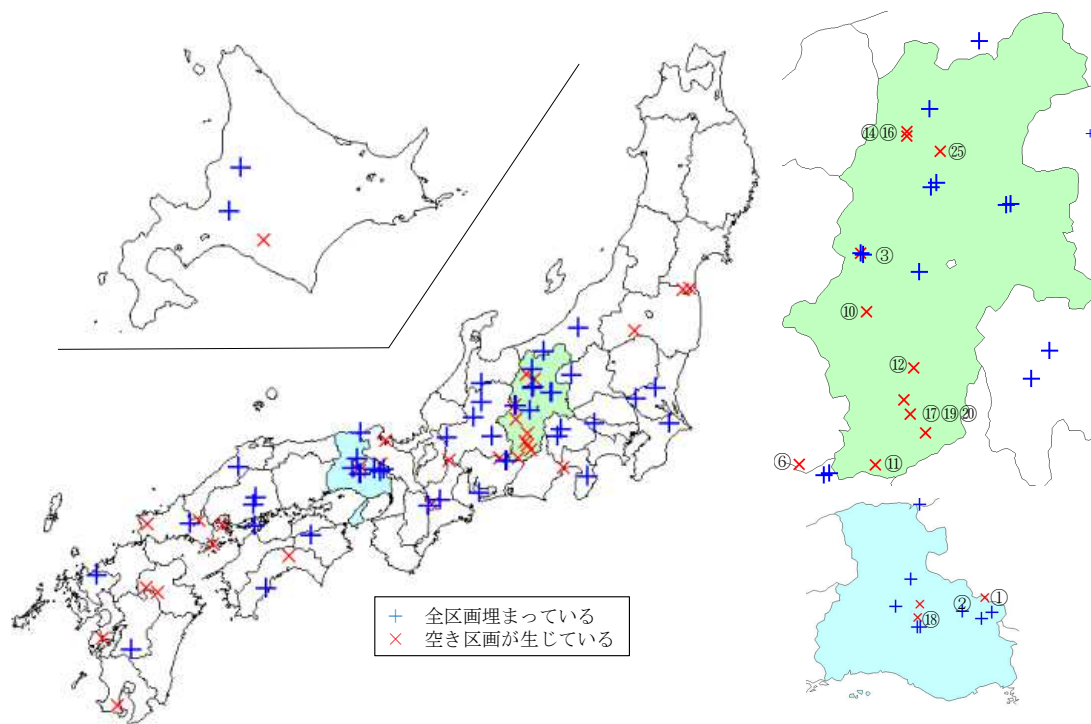


Fig.1 2014年における空き区画が生じているKGの分布
Distribution of KGs with unused plots in 2014

年間利用料や開設からの年数が空き区画に関係すると仮説を立て、U検定を行ったところ、有意な差は見られなかった(利用料 $p=0.37$, 開設からの年数 $p=0.48$)。

開設主体が行政だったKGは、全64地区中23地区で空き区画があった。それに対し、民間主導のKGは全14地区のうち8地区と半数以上で空きが生じていた。利用料収入はKGの重要な収入源であり、空き区画の存在はその減少に直結する。しかも民間型KGは赤字が許容されづらい³⁾。ここで民間型KGだった④⑫が業務から撤退したのはこのことが影響すると考えられる。

Fig.1より、空き区画を持つKGの多くが、長野県、中国地方、東北地方に分布していた。このうち長野県はKGが18地区と際だって多いが、その半数以上の10地区に空きが生じている。長野県の次にKGが多い兵庫県では、全10地区中3地区だった。この違いについて、長野県は周辺の都市住民(KGの主な利用者)に比べてKG地区数が多いことが影響すると考えられる。

(2)個々のKGに関する考察 Table 1のうち、①②③④⑲⑳は空き区画が際だって多い。このうち①は兵庫県篠山市、②は同県多可町、③は長野県松本市に位置する。それぞれの市町には4地区、4地区、5地区のKGがあり、それらによる利用者獲得競争が生じやすいと考えられる。一方で①②③は同市町のKGの中でも相対的に知名度が低い、不便な位置にあることや利用料が高額である、施設が見劣りするなどの理由で選択されづらいのだと考えられる。たとえば③は我が国におけるKGの嚆矢である坊主山KGと同市内にあり、しかも標高1,300mで最も近い集落からも3km以上離れた雪深いところに位置する。

このほか、④には原発事故ゆえの風評被害、⑲は半島に位置するために利用者を集めづらいこと、⑳は開設初年度のための宣伝不足が影響すると考えられる。

文献 1)牧山・細谷・井上(2013):農村計画学会誌32巻. 2)細谷・牧山(2014):農業農村工学会大会講要. 3)牧山・井上(2011):農村計画学会誌30巻.